第7節 公共交通

(1) 公共交通網

名鉄広見線の御嵩駅、御嵩口駅、顔戸駅の3駅があり、これに加えて、可児市にある明智駅の合計4駅が、住民をはじめとする通勤・通学者の利用駅となっています。

バス路線としては、御嵩町が運営するコミュニティバスが町内のほぼ全域をカバーしています。町の中心部には、ふれあいバスとして御嵩駅を中心に御嵩・中地区を巡回する「みたけ・なか線」(1日7便)と「工業団地・南山台線」(1日10便)が運行されています。それ以外の地域には、ふれあい予約バスとして予約制の「ふしみ線」と「かみのごう線」が1日9便運行されています。

(2) 公共交通の利用状況

鉄道の乗降客数は、御嵩駅が最も多く、次いで明智駅、御嵩口駅、顔戸駅の順となっています。推移をみると、御嵩口駅、顔戸駅は横ばい、御嵩駅、明智駅は減少傾向で推移しています。

また、コミュニティバスの乗降客数は、2004 (平成16) 年以降減少傾向にありましたが、2013 (平成25) 年4月の再編後はふれあい予約バスの運行開始により大幅に増加しています。2016 (平成28) 年度のバス路線別乗降客数では工業団地・南山台線が最も多く、次いでみたけ・なか線、かみのごう線、ふしみ線となっています。

図 駅別乗降客数の推移

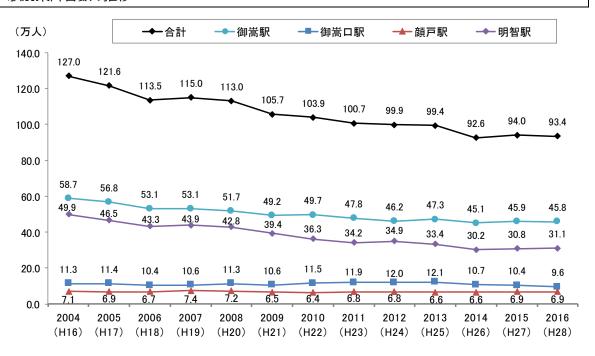
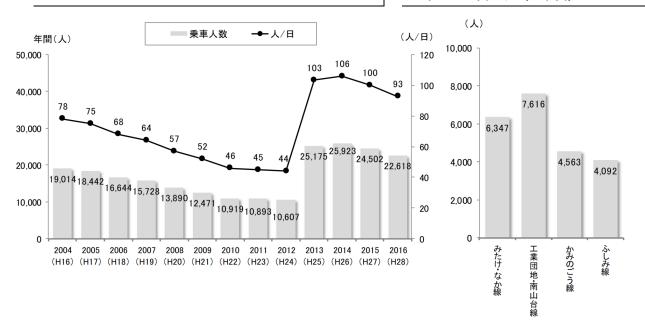
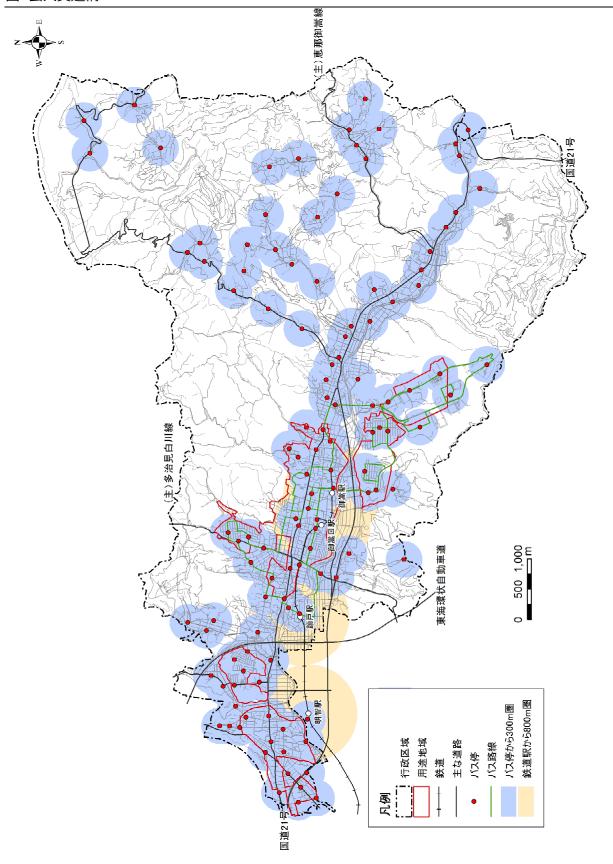


図 コミュニティバスの乗降客数

図 バス路線別乗降客数 (2016 (平成28) 年度)



資料:御嵩町統計書



※町の中心部以外は、予約制の運行のため、特定の路線はなし 資料:御嵩町ホームページ